

セレンディピティの 拡張

東西の哲学・科学・創意性理論を統合し
た

『私・此処・今』のパラダイムから見たセ
レンディピティ

学術的発
表

2025年7月7
日

目次

1. セレンディピティ概念の紹介
2. セレンディピティと他理論との関連性
3. 宮永博史の7つの法則
4. 東西思想の統合的理解
5. 創意性理論：循環法則
6. 創意性理論：トリーズ (TRIZ)

7. 創意性理論：構造論

8. 『私・此処・今』のパラダイム

9. 時間・空間・人間の統合体系

10. 結論および現代的含意

11. 参考文献

セレンディピティとは何か

セレンディピティ (serendipity) : 偶然の発見、
予期せぬ解決策

- 科学・芸術・文化・愛など多様な領域で中心的役割
- 単なる運以上の意味、新たな秩序 / 革新の創出の基盤
- 混沌から、従来発見されなかった新たな循環的秩序を発見すること
- 今日の生存に必要で効果も大きい、創意的発見のメカニズム

セレンディピティと他理論との関連性

セレンディピティは多様な学問分野や理論と密接につながっています

- 複雑系理論との関連性 — 混沌から新たな循環的秩序を発見
 - 東洋思想（陰陽・五行・理気、天地人）と西洋科学（ニュートン・アインシュタイン・量子力学）の双方で発見
- 時間・空間・人間の循環的秩序と深い関連
 - 創意性の開発と革新において中心的メカニズムとして作用
- 文化・芸術分野では実証的な近代理論への抵抗として表現
 - 多様な分野で共通する創造的発見の原理として注目される

宮永博史のセレンディピティ7つの法則

『セレンディピティの法則』で提示された、混沌から循環的秩序を発見する法則

1. セレンディピティは誰にでも訪れる

3. 初心者のように発想し、専門家のように実行する

5. 偶然のひらめきが湧くよう誘導する

7. 組織の結束を育てる

2. 無関係なものを関連づけてみる

4. 予想外を考える

6. 論理的思考をしつつ、その幅を広げる

出典：宮永博史『セレンディピティの法則』

東西思想の統合的理解

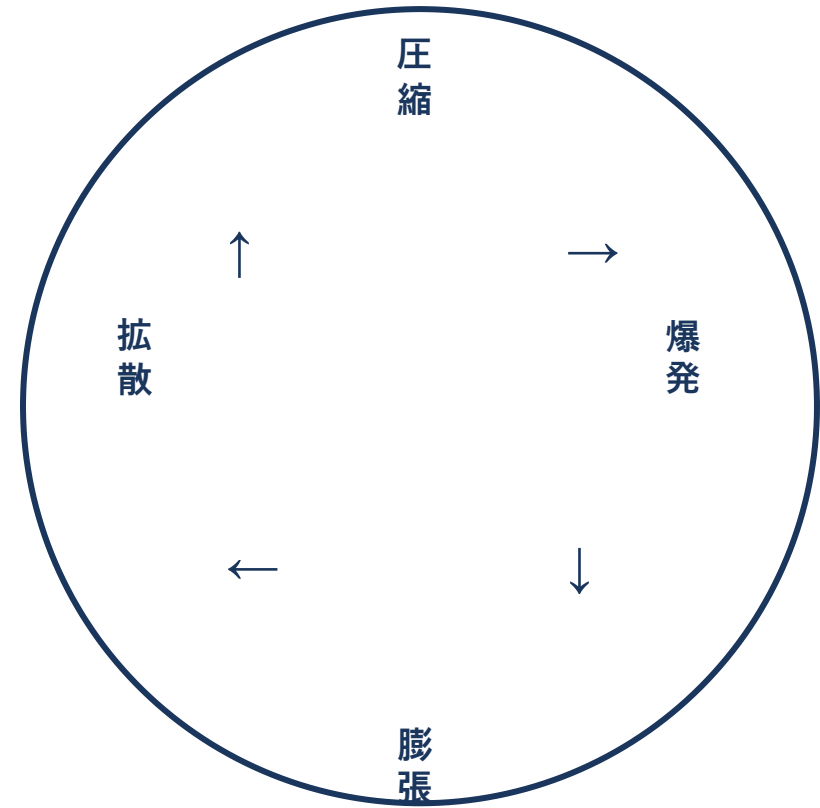


主要な理論的接点

- 東洋：陰陽・五行・理気 / 天地人、儒仏仙などにおいて循環パターンと調和を強調
- 西洋：ニュートン力学（絶対性）、相対性理論（相対性）、量子力学（互換性）の発展過程
- 統合：時間（今）、空間（此处）、人間（私）の三元構造で理論を統合可能

創意性理論：循環法則

- 自然科学的 / 哲学的原理：東洋の陰陽五行、地水火風などと西洋の科学理論に共通して見られる循環パターン
- フラクタル構造：原子から銀河まで、見える物質から見えない精神領域まで、同一の循環パターンが反復する
- 基本メカニズム：圧縮・爆発・膨張・拡散の循環が、あらゆる自然現象と創造過程の根本原理
- 創意性との関係：共通パターンを発見することで創意的な解決策を導出可能
- 現代的応用：工学・芸術・経営など多様な分野で革新の道具として活用



万物循環の基本パターン

創意性理論：トリーズ（TRIZ）

トリーズ（TRIZ）：革新的問題解決のための体系的理論

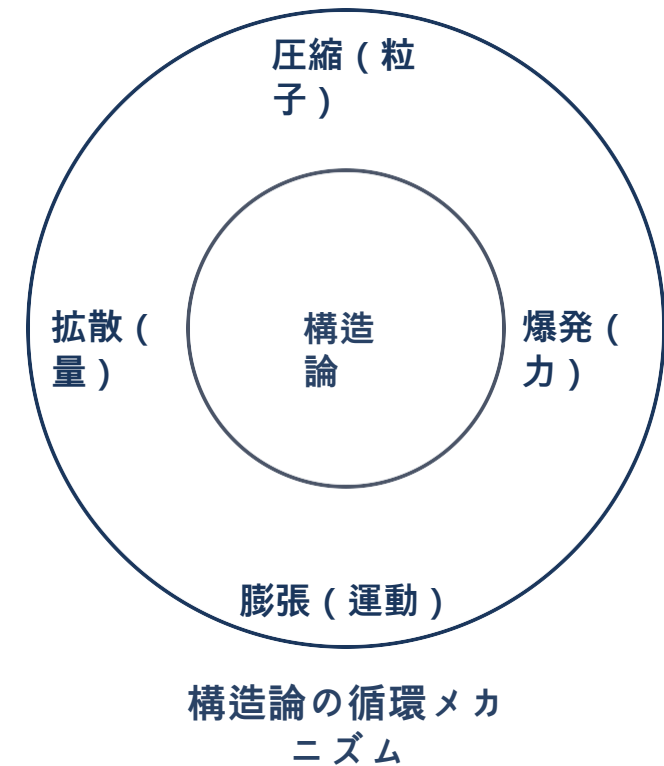
- ロシアのゲンリッヒ・アルトシュラー（Genrich Altshuller）が開発
- 世界中の特許分析により、40の創意的問題解決パターンを導出
- TRIZはロシア語『Teoriya Resheniya Izbretatelskikh Zadach』の略
- 妥協や二者択一ではなく、『矛盾の解決』を通じた革新の創出
- サムスン、ポスコなど韓国の先端技術企業の革新基盤
- 問題の中に隠れた矛盾を発見し、創意的に解決
- 矛盾は循環のなかの対称性（時間・空間）から生じる

韓国型トリーズの特徴

- 時間と空間の分離による矛盾解決に重点
- 例：時間分離 — 間欠的な給水により、通電中の地下鉄を清掃
- 例：空間分離 — 円錐形構造で雨水は通しハイヒールは防ぐ

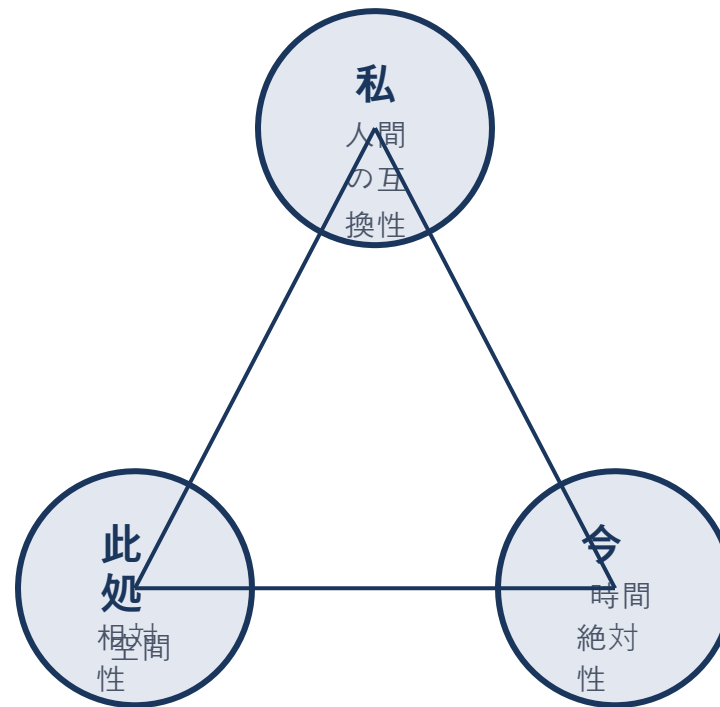
創意性理論：構造論

- 循環法則・トリーズの長所を統合した理論
- 圧縮・爆発・膨張・拡散の循環過程を『構造』という概念で一元化
- 循環法則で木火金水土として、あるいは圧縮・爆発として表現された力を、機械工学的用語で明確化
- 事物・事件の構造的な歴史解釈が可能（例：アレクサンドロス、始皇帝、ナポレオンの成功）
- 内部と外部の二重対称構造を通じて均衡をとる構造として、互換性を生成



『私・此処・今』のパラダイム

セレンディピティの核心構造：人間（私）・空間（此処）・時間（今）の三者構図



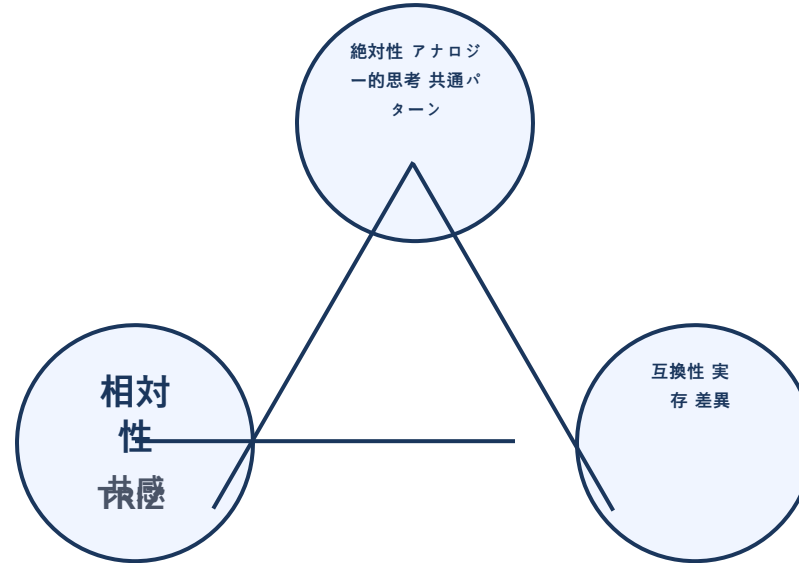
時間・空間・人間の統合体系

「私・此处・今」は人間・空間・時間の三元構造として、多様な理論体系と対応します

区分	今（時間）	此处（空間）	私（人間）
次元	1次元	2次元	3次元
図形	線	面	立体
特性	絶対性	相対性	互換性
創造性	循環法則	TRIZ	構造論
科学	ニュートン物理学	相対性理論	量子力学
力学	五行	陰陽	三才
セレンディピティ	共通パターン	共感	実存

※ 東洋（五行・陰陽・三才）と西洋（ニュートン・アインシュタイン・量子力学）の理論体系が統合的に対応します

理論間の関連性の分析



- 絶対性（アナロジー的思考 / 共通パターン）・相対性（共感）・互換性（実存 / 差異）の三角構造として統合可能
- あらゆる創意性理論、東西の思想がこの構造の中で相互参照・融合する

結論および現代的含意

研究の結論

- セレンディピティは多様なフレーム / 理論を包含する創意性の根源的基盤
- 「私・此处・今」のパラダイムはあらゆる革新的発見の根幹
- 東洋と西洋の思想、科学理論、創意性理論が三角構造（絶対性・相対性・互換性）として統合される

現代的含意

- 個人：実存的自己認識、環境的文脈、今への集中を通じた創意的問題解決力の向上
- 組織：セレンディピティに基づく革新文化とシステムの構築による持続可能な成長の実現
- 社会：時間・空間・人間の統合的理解を通じた文明の新たな進化方向の提示

セレンディピティは偶然のように見えるが、実は混沌の中で発見される新たな循環的秩序である。アナロジー的思考（共通パターン）、共感（相対性）、実存（互換性）のメカニズムを通じて創意的革新が実現される。

参考文献

セレンディピティおよび創意性関連文献

- 宮永博史（著）『セレンディピティの法則』、セレンディピティ現象と7つの法則に関する分析
- アルトシュラー、ゲンリッヒ（著）『TRIZ：創意的問題解決理論』、創意的問題解決のための40の原理
- 呉光吉（著）『循環法則とフラクタル構造』、循環法則に関する体系的研究

東西の哲学および科学の古典

- 『黄帝内経』、五行と陰陽に関する古典医学書
- ラカン、ジャック（著）『精神分析の四基本概念』、構造主義的精神分析
- エックハルト・トール（著）『ニュー・アース（今の力）』、「今」に関する実存的解釈

学術研究および現代理論

- キム・ドンリョル（著）『構造論の原理と実際』、循環法則とTRIZを統合した構